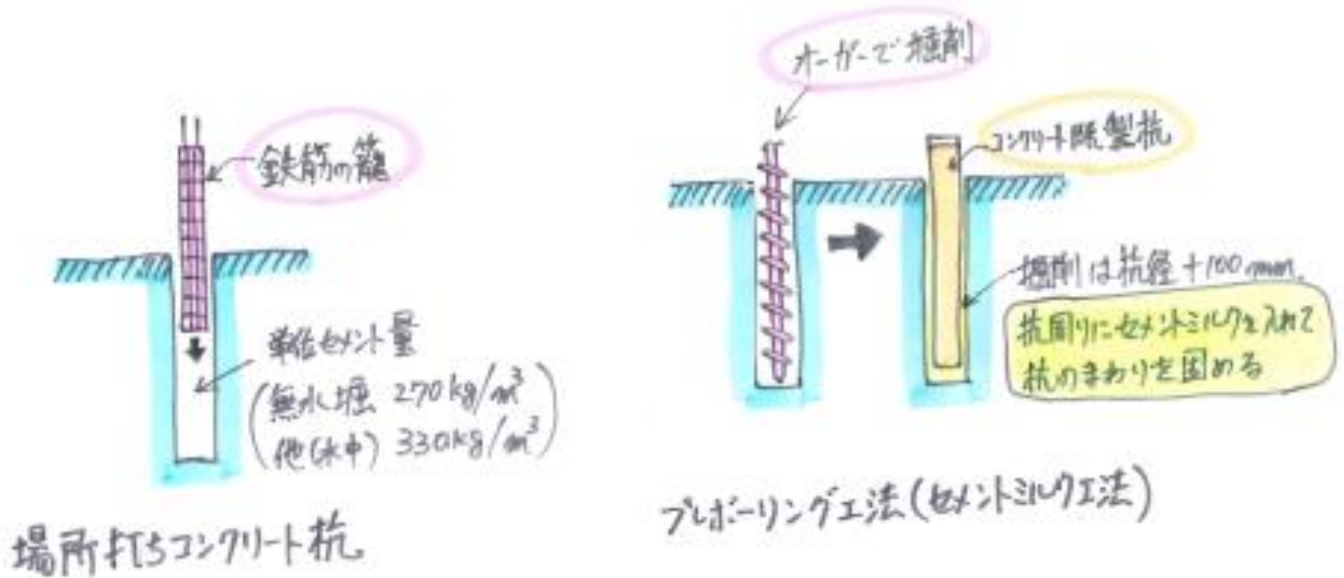


V 施工 (8. 基礎工事) ① 場所打ちコンクリート杭・プレボーリング工法



注意 プレボーリング工法 (セメントミルク工法) は、掘削径を+100mmとして、周囲にセメントミルクを入れてコンクリート既成杭を固める方法であり、プレボーリング工法の他の方法として、打撃併用工法があり、こちらは掘削径を-50mmとして、打撃によりコンクリート既成杭を打ち込む方法である。

(1) 場所打ちコンクリート杭工事

- 場所打ちコンクリート杭地業工事でのコンクリート水中打設は、水がない場合に比べて単位セメント量を多くする。
- 場所打ちコンクリート杭工事で、安定液に打ち込むコンクリートの単位セメント量は、 330 kg/m^3 以上とする。

(2) オールケーシング工法

- オールケーシング工法のケーシングチューブの引抜きは、ケーシングチューブの先端をコンクリート内に2m以上入った状態に保持しながら行う。

(3) セメントミルク工法

- セメントミルク工法による既製コンクリート杭工事において、アースオーガの支持地盤への掘削深さについては1.5m程度とし、杭の支持地盤への根入れ深さについては1m以上とした。
- セメントミルク工法による既製コンクリート杭工事で、アースオーガの支持地盤への到達は、アースオーガの駆動用電動機の電流値の変化及びオーガの先端に付着した排出土と土質標本との照合により確認した。